

もがみ探検隊 ~堺田編~

検査 中鉢由香

梅雨明け宣言から数日後、気温30℃を超える暑いある日の午後、私たち“もがみ探検隊”は堺田地区へ車を走らせました。隊員は、最上町で生まれ育った西塚衛一さんと坂井一恵さん、大場かおりさんと子供たち、そして最近最上町民になった鶴岡出身の木村友維さん、最上町通勤歴6年になる新庄出身の私の総勢8人です。6年間ほぼ毎日最上に通っている私ですが、新庄～向町間の47号線沿いしか知らず、堺田地区がどの辺りにあるのかも知りませんでした。車内で「山形県と宮城県の県境にあるから堺田っていうなあぜ」という最上うんちくを聞き、「へえ～、なるほど!」と感心し、わくわくしながら目的地へと向かいました。

封人の茶屋 じくう

情緒あふれる日本家屋の中に入った途端、不思議なくらい涼しく、そこでいただいた蕎麦もひんやりしてとても美味しかったです。初めて食べた水蕎麦は蕎麦の香りを充分に楽しむことができました。



出羽街道 中山越

山形県と宮城県を結ぶ近道で、松尾芭蕉が辿った奥の細道の一部です。芭蕉翁になった気分です。少しだけ歩いてみましたが、蚊の多さにすぐリタイアしてしまいました。秋になったら紅葉を楽しみながら、宮城県側から尿前の関まで頑張ってみてみたいです。



分水嶺

山から流れてきた水が日本海と太平洋に分かれる場所。あの小さな川がそれぞれ大きな海へと続いていると想像すると、自然の力を感じます。トノサマガエルやアメンボを久しぶりに見て、子供の頃を思い出しました。



封人の家

松尾芭蕉が泊まったと言われる日本に残る唯一の建物。現代では珍しい囲炉裏の火に子供たちも私も興味津々でした。受付の中鉢さんから封人の家の歴史を聞きながら、囲炉裏の鉄瓶で沸かしたお茶をおいしくいただきました。



向町から車で約10分の距離にこんなに素晴らしい場所があることに驚き、最上町の魅力を感じることができました。私には、行ったことはないけれど気になる場所がまだまだあります。またこんな機会を作って最上町を探検し、新しい魅力を発見したいです。